

【対象】

敷地内の地面の高低差3m超で、
根切り工事の深さ又は山留め工事の高
さ3m超の建築工事（工作物含む）

工事等施工計画概要書・計画変更概要書

山留め工事又は
根切り工事着手
3日前までに提出

工事等を行います。

〇〇年〇〇月〇〇日

建築主 又は 造成主	住所氏名	神奈川県川崎市〇〇区〇〇111-1 〇〇 〇〇		開発・宅造工事の場合は、許可を 受けた申請者となります。	
工事施工者	住所 資格 会社名	神奈川県川崎市〇〇区〇〇222-2 建設業の許可（大臣 知事）登録 第 〇〇〇〇〇 号 株式会社 〇〇工務店		（電話 044-000-0000） 代表者名 〇〇 〇〇	
工事概要	工事名称	（仮称）〇〇ビル 新築工事		変更確認番号は直近の番号をご記載ください。	
	建築確認番号	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇確更建築川崎市本〇〇〇〇〇 号			
	開発・宅造許可番号	当初確認等番号 （第 〇〇確申建築川崎市本〇〇〇〇〇号）			
	建築場所 又は 造成場所	川崎市〇〇区〇〇333-3	用途	店舗、事務所	
	構造・規模	RC造、地上5階／地下2階		延べ面積	1,200.00 m ² 、擁壁の最大高さ ー m
山留め工事等の 着手予定日	〇〇年〇〇月〇〇日		開発・宅造工事の場合 は、開発区域は又は申 請区域となります。		今回工事の「最大の擁壁の高さ」を、該当 がなければ「ー」を記載してください。
山留め の 存 置 期 間	〇〇年〇〇月〇〇日から 〇〇年〇〇月〇〇日まで（残置の場合はその旨を記載）		残置		
最大 根切り工事の深さ 山留め工事の高さ	4.0 m				
根切り工事、山留め工事等を行う場合の危害の防止 ☐ 地下埋設物（ガス管や水道管等）の損壊による危害の発生を防止するための措置を講じている。 ☐ 地盤調査を行い、地層及び地下水の状況に応じた施工図を作成し、施工する計画となっている。 ☒ 建築物、工作物、崖、道路に近接して掘削を行う場合は現況調査を行い、危害防止措置を講じている。 ☐ 杭、鋼矢板等の根入れ長は、安定計算、支持力の計算、ボイリングやヒービングの計算等により、周辺地盤の 安全を保持するための相当な深さとしている。 ☐ 山留めの主要な部分（切ばり、矢板、腹起し等）について、構造計算等により土圧に対する安全性を確認して いる。 ☒ 山留め工事・法面処理を施している間は必要に応じて点検を行い、異常を早期に発見すると共に、山留めを補 強し、排水を行う等の安全な状態に維持するための措置を講じている。 ☒ 山留め・当該工法について十分に検討し、土質、地下水位等に応じた適切な工法等を選定している。 ☒ 切取り面の土質に見合った勾配を保った掘削を計画している。					
緊急時連絡先	現場管理者	氏名	株式会社 〇〇工務店 〇〇 〇〇	電話（現場事務所）	000-000-0000
				電話（携帯）	000-000-0000
	現場担当者	氏名	株式会社 〇〇工務店 〇〇 〇〇	電話（現場事務所）	000-000-0000
				電話（携帯）	000-000-0000
※受付 処理 欄	※備 該当がない場合は、添付図書に どのような代替方法で確認を行 ったか、ご記載ください。 現場管理者と同一の場 合は、記載不要です。 緊急時に連絡の とれる番号をご 記載ください。				

注1 ※印の欄には、記入しないでください。

2 山留め工事等施工計画概要書には、①案内図、②山留め平面概要図（敷地境界線、隣地高低差、山留め位置、山留め仕様、法面角度、周辺敷地（隣接建築物（工作物）の位置・規模・構造、道路、鉄道等）の状況を記載、③山留め断面概要図（根切り工事の深さ、山留め工事の高さ、根入れ長を記載、④山留め工事等工程表を添付し、1部提出してください。

3 計画に変更が生じた場合には再度施工計画概要書を提出してください。

4 工事により敷地外の道路や周辺家屋に被害が発生した場合は、各関係機関に連絡する他、書類提出先にもご連絡ください。